

感染症情報

12月22日～28日(第52週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★★★	→	まれにみられます
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★★	→	コンスタントにみられます
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★★★★	→	減少傾向です
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	↑	
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★★	↓	まれにみられます
⑪	手足口病	★		
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★★★	↑	増加傾向です
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★		
⑯	RSウイルス感染症	★★	↓	減少傾向です
⑰	インフルエンザ	★★★★★	↓↓	減少傾向です
⑱	新型コロナウイルス感染症	★		
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★		1例ありました
⑳	その他のかぜ症候群	★★		

「インフルエンザ」は51週(12月下旬)をピークに減少傾向です。成人では正月休み中も多くみられたので小児は冬休みの影響が強いのかもわかりません。昨年度は1月以降は流行がありませんでしたが今年はどうなるでしょうか。現在流行しているのは「サブグレードK」と呼ばれるA香港型の変異株です。今後B型が流行する可能性は十分あります。「マイコプラズマ感染症」は大分少なくなっていますが、まだまだみられます。「溶連菌感染症」はコンスタントにみられ「アデノウイルス感染症」が増加傾向です。「RSウイルス感染症」「水痘」はまれにみられます。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある